

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	11	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者軽度生活援助事業	公的関与	5	シート作成日	平成22年6月11日	
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(4)安心な生活の確保			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市軽度生活援助事業実施要綱	
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険の対象外である65歳以上のひとり暮らし高齢者等で、日常生活上の援助が必要な者								
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	軽易な日常生活の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への移行を防止します。								
			今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 外出時の付き添い											
	② 食材、日用品等の買い物											
	③ 住居等の清掃											
	④ 調理											
	⑤ 衣類等の洗濯											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標			
	利用者人数		年間の利用者延べ人数		人	目標 →	→	→	→			
						実績 285	265					
						目標						
						実績						
						目標						
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	3 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費	
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		0 千円	0 千円						
		県支出金	0 千円		0 千円	0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円						
		その他特定財源	254 千円		268 千円	331 千円						
		一般財源	2,387 千円		2,522 千円	3,109 千円						
		計(A)	2,641 千円		2,790 千円	3,440 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.044 人	269 千円	0.100 人	628 千円	0.100 人	615 千円				
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		2,910 千円		3,418 千円	4,055 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	高齢者等に援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にし、要介護状態への移行を防止するため必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	高齢者等に援助を行うことで、要介護状態への移行防止ができません。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	利用希望者(援助が必要と判断された方)について、援助できるような対応できています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	委託料については介護報酬を基に算定しているため適当です。効率的に実施できています。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	申請者や問い合わせは少しずつ増加していますが、事業内容の周知及び啓発(該当者のうち未利用者)活動を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	高齢者世帯を把握している民生委員に事業内容の周知を行い、該当者について生活支援を促進します。					高齢者の日常生活支援を行うことにより、要介護状態への移行防止を図るとともに未利用者に対する事業内容の周知、啓発し、利用促進に繋げていく。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	12	基本事務事業名	高齢者支援事業	事務事業名	高齢者緊急通報体制等整備事業	公的関与	4	シート作成日	平成22年6月1日	
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	田丸宏江			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(4)安心な生活の確保			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市緊急通報装置貸与事業実施要綱	
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者で、近隣に扶養義務者がなく緊急連絡を行う必要があると認められる者及び外出困難な重度の身体障害者で緊急連絡等の手段として装置の必要があると認められる者									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ひとり暮らしの高齢者及び重度身体障害者に対して緊急通報装置を貸与し、関係機関及び地域住民の協力を得て緊急連絡等の確保する事業を行うことにより、ひとり暮らしの高齢者等の不安が解消できるとともに福祉の向上が図れます。								
			今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 緊急通報装置(本体+ペンダント)の貸与または給付します。											
	② 通報を24時間受信し、必要な処置を講ずるとともに親族などに連絡し、その旨を阿波市、関係機関に連絡します。											
	③ 必要に応じてテスト通報(試し押し)を行います。											
	④ 利用者からの相談にきめ細やかに対応します。											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標		
	装置設置(既設)	総設置台数		台	目標		230	235	225	→		
					実績		229	223				
	装置設置(新設)	設置台数(月)×12ヶ月		台	目標		36	35	24			
					実績		28	20				
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	2 老人福祉費	目	1 老人福祉総務費	
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円					
		県支出金	0 千円		0 千円		0 千円					
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円					
		一般財源	4,403 千円		4,625 千円		4,545 千円					
		計(A)	4,403 千円		4,625 千円		4,545 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.880 人	5,384 千円	0.880 人	5,529 千円	0.880 人	5,408 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		9,787 千円		10,154 千円		9,953 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価				
							少ない	大きい				少ない	大きい			
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の緊急通報手段として装置設置が必要です。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ひとり暮らしの高齢者等の不安解消と福祉の向上対策に有効です。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	概ね希望者に装置の設置ができています。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。						<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	近隣において、事業を実施する業者がなく、見積書による契約のため、今後契約方法などの協議によりコスト削減の余地があります。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
ACTION	一次評価					二次評価										
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価					
		4	4	3	3	A	4	4	3	3	A					
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等						
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止							
当面の課題	平成21年度末の緊急通報装置の設置台数は、223台ですが、現在製造されていない機種（ER-50以外）が57.4%と半数以上を占めているため、古い型より交換をしていく必要がある。SL機については、耐用年数が7年ですが、導入してから14年が経過しており交換時期が過ぎている。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点										
改革案と実行計画	SL機については、年次的に設置台数を計画的に交換していきます。					65歳以上のひとり暮らしの方の、不安解消と福祉の向上対策に、今後においても継続して緊急通報装置の整備は必要である。尚、旧型の装置については、年次的に交換する時期が来ている。										
委員会指摘事項																

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	13	基本事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	事務事業名	居宅サービス事業(介護予防支援事業)	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日		
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	三木敦子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		介護保険における予防給付の対象となる要支援者									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	対象者の心身の状況、環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成とともに、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行い、適切な介護予防サービス等の提供を行うことにより、対象者の心身の状態の改善を図り要介護状態となることを予防します。								
				今年度									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 地域包括支援センターの専門職の確保と指定居宅介護支援事業所への委託により、要支援者が利用する介護予防サービス計画を作成します。												
	② 介護予防サービス事業者等への関係機関との連絡調整を行います。												
	③ 指定居宅介護支援事業所へ委託している予防給付のケアマネジメント業務については、適切な介護予防サービス計画の立案ができていないか確認をおこないます。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標			
	介護予防プラン		介護予防プラン作成(月)×1 2ヶ月		件	目標	6,000	6,000	6,000	↓			
						実績	6,028	5,616					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	2 老人福祉費	目	4 介護予防支援事業		
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円	人件費のうち、嘱託職種(嘱託介護支援専門員10名分)については直接事業費に20,148千円が含まれています。						
		県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		24,784 千円	23,519 千円	24,518 千円							
		一般財源		820 千円	2,862 千円	1,818 千円							
		計(A)		25,604 千円	26,381 千円	26,336 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	6.000 人	36,712 千円	6.000 人	37,701 千円	6.000 人	36,873 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)			62,316 千円	64,082 千円	63,209 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護予防サービスを受けるのには、介護予防サービス計画作成が必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	要支援認定者ごとに計画作成するため、各要支援認定者に応じたサービスが受けられ有効ですが、介護度の改善までは至っていません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	要支援の状態に応じた計画が概ね作成されています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現状の体制では計画作成がほぼ効率的にできていると思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	介護予防支援業務の一部については、指定居宅介護支援事業者に委託して実施していますが、委託を拒否されることもあり、地域包括支援センターでの占める割合が大きくなっており、嘱託介護支援専門員の確保が重要となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	地域包括支援センターで事業を継続していくには、正規職員のみでは対応できず、今後も専門職員(嘱託)の人員確保と各事業所との連携により事業の推進を行っていきます。					介護保険制度において、居宅における介護予防支援が重要視され、地域包括支援センターの介護予防支援事業所としての役割で、介護予防プランの作成と介護支援専門員(嘱託職員)による訪問調査等による資料作成の事務量の増大に対応するため、各事業所への調査・プラン作成依頼を行っています。今後も高齢者の増加が見込まれる中、対応策として介護予防支援の改善(専門職の人材確保)を検討していきます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	14	基本事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	事務事業名	地域包括支援センター運営協議会	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	妹尾千恵子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)安心な生活の確保				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法・阿波市地域包括支援センター運営協議会設置要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		介護サービス及び介護予防サービスに関する事業者・職能団体等、介護サービス及び介護予防サービス利用者・介護保険の被保険者、介護保険以外の地域資源や地域における権利擁護又は相談業務等を担う関係者、地域ケアに関する学識経験者を有する者、別に定める職にある職員											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	介護保険法に定める地域包括支援センターの公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図ります。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 地域包括支援センターの設置等に関する事項の承認に関することを行います。															
② 地域包括支援センターの運営・評価に関することを行います。															
③ 地域包括支援センターの職員確保に関することを行います。															
④ その他地域包括支援センターに関することを行います。															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	運営協議会の開催数		年2回程度		回	目標	2	2	2	2					
						実績	2	2							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	1	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	0 千円		193 千円		267 千円								
		計(A)	0 千円		193 千円		267 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.021 人	132 千円	0.021 人	129 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		0 千円		325 千円		396 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	平成18年度介護保険制度の改正により地域包括支援センターが創設されたものであり、その公正及び中立性の確保その他の円滑な運営を図る上で運営協議会は必要です。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	協議会を開催することによって、地域包括支援センターの運営向上につながっていきます。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者が進む中で、地域包括支援センターに対するニーズが確実に増えている内容について、協議会での報告審議で役割は達成されています。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域包括支援センターを設置する市町村は、運営協議会の設置が義務付けられており、運営協議会の構成員については、幅広く各層から選定しています。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	健康福祉部内にある各種協議会・委員会等の構成員が一部重複しているため、各委員の参集に対して開催日の調整等に気をつけています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	介護保険制度の各種協議会については制度上必要な協議会であり、構成員等を選定する際に考慮し、同日開催ができるよう調整していきます。					阿波市では、公平性・中立性の観点から直営方式で運営しています。地域包括支援センターの活動方針について、運営協議会の中で審議しながら公正及び中立性の確保、その他の円滑な運営を図ります。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	15	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	特定高齢者把握(生活機能評価)事業	公的関与	5	シート作成日	平成22年6月15日																																									
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	坂東久美																																											
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託																																									
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等																																									
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了																																												
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし																																										
	主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法																																											
	事業の対象・目的		対象(誰を、何を) 主として要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の人(特定高齢者) 目的(どういう状態にしたいのか) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr> <td>最終的</td> <td>特定高齢者の一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することで、要介護状態等になることを予防します。</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td></td> </tr> </table>										最終的	特定高齢者の一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することで、要介護状態等になることを予防します。	今年度																																					
	最終的	特定高齢者の一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することで、要介護状態等になることを予防します。																																																		
	今年度																																																			
事業の活動内容		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方に介護予防基本チェックリストを提出してもらいます。 ② チェックリストで生活機能低下の疑われる方に、受診券を送り病院で生活機能検査を受けてもらいます。 ③ 生活機能低下ありの検査結果がでた場合介護予防プログラムの参加を勧めます。 ④ ⑤																																																		
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>計算式又は指標設定理由</th> <th>単位</th> <th></th> <th>平成 20 年度</th> <th>平成 21 年度</th> <th>平成 22 年度</th> <th>最終目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">特定高齢者の年間発生者数</td> <td rowspan="6">65歳以上高齢者人口×5%</td> <td rowspan="6">人</td> <td>目標</td> <td>647</td> <td>573</td> <td>570</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>167</td> <td>43</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標	特定高齢者の年間発生者数	65歳以上高齢者人口×5%	人	目標	647	573	570	570	実績	167	43			目標					実績					目標					実績				
指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標																																													
特定高齢者の年間発生者数	65歳以上高齢者人口×5%	人	目標	647	573	570	570																																													
			実績	167	43																																															
			目標																																																	
			実績																																																	
			目標																																																	
			実績																																																	
予算費目		会計 介護保険特別会計 款 5 地域支援事業 項 1 介護予防事業 目 1 介護予防特定高齢者施策事業費																																																		
DO			平成 20 年度決算		平成 21 年度決算		平成 22 年度予算		備考																																											
	直接事業費	国庫支出金	691 千円		98 千円		548 千円																																													
		県支出金	345 千円		49 千円		274 千円																																													
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円																																													
		その他特定財源	1,202 千円		167 千円		931 千円																																													
		一般財源	527 千円		81 千円		440 千円																																													
		計(A)	2,765 千円		395 千円		2,193 千円																																													
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.758 人	4,638 千円		0.758 人	4,763 千円		0.758 人	4,658 千円																																										
		臨時・嘱託職種																																																		
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円																																										
全体事業費(A+B)		7,403 千円		5,158 千円		6,851 千円																																														

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	国の施策であり、高齢者が要介護状態等にならないよう予防する方法として必要です。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	○ ある	● ない	○ いる	● いない			○ ない	● ある	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない	○ いる	● いない	○ いる	● いない			○ ない	● ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ する	● しない	○ できない	● できる	○ する	● しない			○ できない	● できる	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない		● できる		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	生活機能低下者を早期に発見し、介護予防につなげる手段として有効です。	○ いえない	● いえる	○ できない	● できる	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない		○ できない	● できる	○ する	● しない	○ できない	● できる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる		○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる	○ できない	● できる	○ できない	● できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	生活機能評価を受けた方から介護予防プログラムの利用につながった方が少なかったです。	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	● あまり上がっていない		● あまり上がっていない	● あまり上がっていない	● あまり上がっていない	● あまり上がっていない	● あまり上がっていない	● あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している		○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	チェックリストの回収率が少なかつたため、特定高齢者の決定者数も少なく、積極的な介護予防にはつながっていません。	○ 高い	● 適当	○ 高い	● 適当	○ 高い	● 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない	○ できる	● できない	○ できる	● できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない	● ある	○ ない	● ある	○ ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない	○ ある	● ない	○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	● 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	B	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	B		
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	○ 縮小		○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	特定高齢者に決定された方に個別のサービスを提供できる体制を整えていく必要があります。チェックリストの未返信者の実態把握をしていく必要があります。基本チェックリストの回収率が低いため、回収率を上げ、特定高齢者を早期に発見し、予防事業につなげる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	様々な機会に基本チェックリストの提出を呼びかけ回収率の向上に努め、民生委員、老人会など既存の組織との連携を図り、特定高齢者の早期発見、早期対応に努めていきます。					介護予防の観点から、現在要介護者等以外の65歳以上対象者にチェックリスト確認により、特定高齢者及び生活機能低下の状態に応じた対応を今後も継続するとともに、未確認者についても、生活機能評価の必要性を理解してもらい、介護予防に努めていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	16	基本事務事業名	介護予防特定高齢者施策事業	事務事業名	通所型介護予防(運動器の機能向上等)事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	坂東久美					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	65歳以上の者で、チェックリスト、生活機能評価を実施し、特定高齢者を決定した者で要介護状態の予防のため介護予防プログラムの利用が必要な者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	通所介護予防事業を利用することにより、運動習慣の確立を図り、心身の状態を改善し要介護状態となることを予防します。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 通所介護予防事業(運動器の機能向上プログラム等を個別計画に基づき実施)を市内事業所に委託します。														
②														
③														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	通所型介護予防事業利用者		通所型介護予防事業の利用者数		人	目標	↑	↑	↑	↑				
						実績	27	26						
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	1	介護予防特定高齢者施策事業費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	848 千円		751 千円		1,647 千円							
		県支出金	424 千円		375 千円		823 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	1,475 千円		1,609 千円		3,531 千円							
		一般財源	645 千円		602 千円		1,319 千円							
		計(A)	3,392 千円		3,337 千円		7,320 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.404 人	2,472 千円		0.404 人	2,539 千円		0.404 人	2,483 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		5,864 千円		5,876 千円		9,803 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	生活機能低下のみられる方に対して、通所型の予防事業を利用してもらうことにより、心身の状態の改善を図り、要介護状態を予防していくため必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	デイサービスセンターなどのサービス事業所に委託し、個々にあったサービス計画に基づき、運動器の機能広報等を図ることができます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	特定高齢者の決定者に対して事業への参加者数が少なく成果があまり上がっていない状況です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当	事業所へ委託して実施していますが、利用者の自主的な介護予防や運動習慣の確立までは至っていません。	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	2	B	4	4	2	2	B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	デイサービス事業所等へ委託して事業を行っているため、介護サービスとの違いが利用者に分かりにくく、自主的な運動習慣の確立につながっていません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	運動器の機能向上事業の評価について、阿波市で統一した様式を作成し、自立に向けた内容を検討していきます。					要介護者等以外の特定高齢者を対象に機能低下解消に、運動器の機能向上事業を今後も継続するとともに、未利用者について、介護予防対策事業として利用促進を図っていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	17	基本事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業	事務事業名	介護予防普及啓発事業	公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部		課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	中野理恵					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上の全ての一般高齢者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	一般高齢者に対して、健康教育、健康相談等の取組を通じて介護予防に関する知識の普及・啓発や地域の自発的な介護予防に資する活動の育成・支援を行い、介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地位社会の構築を目指していきます。									
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 介護予防普及啓発事業(普及啓発するためのパンフレットの作成・配布等)を行います。														
② 地域介護予防活動支援事業(ボランティアと等の人材を育成するための研修、地域活動組織の育成・支援等)を行います。														
③ 介護予防一般高齢者施策評価事業(介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の研修を行いその結果に基づき事業の改善を図る)を行います。														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	講演・相談会の開催数		月2回×12ヶ月		回	目標	24	30	30	30				
						実績	33	34						
	ボランティア育成のための研修会の開催数		年3回		回	目標	3	5	5	5				
						実績	0	4						
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5	地域支援事業費	項	1	介護予防事業費	目	2	介護予防一般高齢者施策事業費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	128 千円		134 千円		358 千円							
		県支出金	64 千円		67 千円		179 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	222 千円		228 千円		608 千円							
		一般財源	98 千円		109 千円		288 千円							
		計(A)	512 千円		538 千円		1,433 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,447 千円		0.400 人	2,513 千円		0.400 人	2,458 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,959 千円		3,051 千円		3,891 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者が要支援状態等になるのを予防する方法として、地域での指導・支援活動を行うことが、自立した生活を高齢者が維持するのに必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し、継続して事業を実施することが成果の向上に有効と思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	サポーター養成講座を実施しましたが、まだ活動には至っていません。講演会や相談会も実施していますが、参加者が少なく、介護予防の定着には至っていません。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高齢者が要支援状態等にならないよう地域の自発的な介護予防に資する活動支援を行い、介護給付費の抑制につながり、事業効果は高いと思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	介護予防体操の普及については、PR不足が考えられるが、介護予防事業を計画しても交通手段がないため参加できない高齢者が多く、活動が広がりにません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	一般高齢者が自ら主体的に介護予防に取り組むような地域社会の構築を促すために、今後も介護予防に向けた普及啓発や各種事業を継続していきます。					65歳以上の一般高齢者に対して、介護予防の健康教育、健康相談、介護予防体操等の知識の普及・啓発により、地域社会全体での取り組みを推進し、自立した生活維持ができるよう各種事業を継続し支援を行っていきます。						
委員会指摘事項	sai												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	18	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業		公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	河野貴子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		特定高齢者												
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	特定高齢者等の心身の状況、置かれている環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行ない、要介護状態となることを予防していきます。											
				今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 課題分析(アセスメント)を行います。															
	② 目標の設定															
	③ 介護予防ケアプランの作成をします。															
	④ モニタリングの実施															
	⑤ 評価															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標						
	介護予防ケアプランの作成		特定高齢者の介護予防プランの作成の作成の件数は表示設定		件	目標	↑	↑	↑	↑						
						実績	27	26								
	介護予防ケアプランの評価		特定高齢者でプラン修了者		回	目標	↑	↑	↑	↑						
						実績	18	32								
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	1 介護予防ケアマネジメント事業費		
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金	6,320 千円		8,475 千円		8,816 千円		直接事業費に人件費(3名)22,029千円が含まれています。							
		県支出金	3,160 千円		4,237 千円		4,407 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	3,160 千円		4,237 千円		4,407 千円									
		一般財源	2,965 千円		4,240 千円		4,409 千円									
		計(A)	15,605 千円		21,189 千円		22,039 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.083 人	508 千円		0.083 人	522 千円		0.083 人	510 千円						
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		16,113 千円		21,711 千円		22,549 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	特定高齢者に対して地域支援事業を利用するためのケアマネジメントを行うために必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	計画に基づくサービス提供が確保されるよう、事業者等との調整、対象者のケアマネジメントをすることにより、機能レベルの改善等が図られ有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	該当者は増加していませんが、該当者についてのケアマネジメント評価は概ね適切に実施されています。しかし、サービス終了後の介護予防の習慣の確立までには至っていない状況です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	介護予防ケアプランに基づき介護予防事業を実施し、事後のアセスメントと介護予防プラン見直し評価を行い、特定高齢者が要介護状態等になるのを予防する効果があります。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	生活機能評価の結果等の情報把握や、日常生活の状況、生活機能低下の原因や背景を分析し、対象者に応じたケアマネジメントを行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	生活機能評価の低下について、対象者の自覚を促すとともに、介護予防に取り組む意欲を引き出し、事業終了後の介護予防習慣の確立に努めます。					特定高齢者及び要支援者が要介護状態等に陥らないよう、専門職員等が生活機能の低下の原因を分析し、介護ケアマネジメントを実施するとともに、介護予防支援の拡充を行っていきます。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	総合相談事業		公的関与	1	シート作成日	平成22年6月11日		
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	大北真理子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	高齢者や家族関係者などから相談を受けて、高齢者の心身の状況、生活状況に必要な支援の把握をして、地域における関係者とのネットワークを構築し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していけるように適切なサービス指導や制度につなげて継続的専門的な相談支援を行っていきます。									
				今年度										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 地域におけるネットワークの構築													
	② 高齢者の実態把握													
	③ 総合相談支援													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標				
	相談件数		総合相談延件数		件	目標	450	450	450	450				
						実績	497	333						
						目標								
						実績								
						目標								
実績														
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計			款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	2 総合相談事業費	
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	3,819 千円		3,715 千円		3,734 千円		直接事業費に人件費(1名)9,282千円が含まれています。					
		県支出金	1,909 千円		1,857 千円		1,868 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	1,909 千円		1,857 千円		1,868 千円							
		一般財源	1,795 千円		1,859 千円		1,867 千円							
		計(A)	9,432 千円		9,288 千円		9,337 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.833 人	5,097 千円		0.833 人	5,234 千円		0.833 人	5,119 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		14,529 千円		14,522 千円		14,456 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いろいろな援護を必要とする高齢者や家族への支援は必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談を受け、地域における適切なサービスや制度を利用することは有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	総合相談支援をすることにより、地域の高齢者が不安解消でき安心して生活を継続できます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談内容に即したサービス又は制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を行うことにより効率的に支援できます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	介護保険サービスだけでは支えきれない在宅高齢者が増えてきています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	高齢者と地域の社会資源、地域の社会資源同士をつなぐネットワークを形成していきます。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活維持ができるように、総合相談事業を実施し、高齢者の状況に応じた地域におけるネットワーク(医療機関・各事業所等)の必要な利用紹介をします。又、認知対象者等の継続的な相談支援体制を構築していきます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	20	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	権利擁護事業		公的関与	1	シート作成日	平成22年6月15日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	大北真理子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	社会福祉の援助を必要としている人々の生活を擁護するため、成年後見制度や権利擁護に関する事業を行い地域において尊厳ある生活を構築し、安心して自立生活を行うことができますようにします。												
				今年度													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 成年後見制度の活用促進																
	② 老人福祉施設への措置の支援																
	③ 高齢者虐待への対応																
	④ 困難事例の対応																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標							
	成年後見権利擁護に関する相談件数		1年間の相談延件数		件	目標	10	10	10	10							
						実績	10	8									
	住民及び関係者への啓発活動		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2							
						実績	5	7									
	関係機関への研修会		6ヶ月に1回		回	目標	2	2	2	2							
実績						1	1										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計		款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費		目	3	権利擁護事業費			
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	36 千円		20 千円		77 千円										
		県支出金	18 千円		10 千円		39 千円										
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円										
		その他特定財源	18 千円		10 千円		39 千円										
		一般財源	18 千円		11 千円		38 千円										
		計(A)	90 千円		51 千円		193 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.125 人	765 千円	0.125 人	785 千円	0.125 人	768 千円									
		臨時・嘱託職種															
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円										
全体事業費(A+B)		855 千円		836 千円		961 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	成年後見制度等の権利擁護を目的とするサービスや制度を活用するなど、ニーズに即した適切なサービス機関につなぎ、適切な支援を提供することが、高齢者の生活を維持するために必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	民生委員、施設、サービス関係者などの対応だけでは問題解決できない困難な場合に、専門的、継続的な観点から高齢者の権利擁護を支援することで地域において安心して生活を維持するのに有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	制度が必要な高齢者は存在するが、利用するには費用等、問題があります。しかし、地域で安心して暮らしていくためにはこの制度は必要であり、事業を継続します。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現状においては、問題解決できない事例について、行政が事業として携わることが効率的であると思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	2	4	A	4	4	2	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	成年後見制度が、必要な方が利用できる制度として使えるように普及啓発に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	1. 本人や家族に必要性や手続きについて説明し、申立てにつなげていきます。 2. 市民を対象に成年後見制度の講演会開催の検討をしていきます。					65歳以上の高齢者で、権利擁護が必要な該当者に、成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の制度に基づき今後も相談対応を行っていきます。高齢者の各会合・研修会を利用し、パンフレットを配布して、制度の周知・啓発を図っていきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	21	基本事務事業名	包括的支援事業		事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		公的関与	1	シート作成日	平成22年6月15日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	東城恭子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策		(2)介護予防・健康づくりの推進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		65歳以上すべての高齢者及び関係者													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	主治医、ケアマネジャー、各関係機関の連携を促進することにより指導助言等を行い、包括的・継続的にケアマネジメントに地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援していきます。												
				今年度													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 包括的・継続的ケア体制の構築																
	② 地域における介護支援専門員のネットワークの活用																
	③ 日常的個別指導・相談																
	④ 支援困難事例等への指導・助言																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標							
	ケアマネからの相談件数		年間の相談件数		件	目標	30	50	50	50							
						実績	76	80									
	介護支援専門員連絡会		6ヶ月に1回		回	目標	3	3	3	3							
						実績	3	4									
	事業所・連絡会		年に1回		回	目標	—	1	1	1							
					実績	1	1										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	4	包括的・継続的ケアマネジメント事業費		
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	2,819 千円		3,123 千円		3,297 千円		直接事業費に人件費(1名)8,058千円が含まれています。								
		県支出金	1,409 千円		1,561 千円		1,648 千円										
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円										
		その他特定財源	1,409 千円		1,561 千円		1,648 千円										
		一般財源	1,324 千円		1,563 千円		1,649 千円										
		計(A)	6,961 千円		7,808 千円		8,242 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,059 千円		0.500 人	3,142 千円		0.500 人	3,073 千円							
		臨時・嘱託職種															
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		10,020 千円		10,950 千円		11,315 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	在宅・施設を通じて地域における包括的・継続的なケアを実施するため、医療機関を含めた関係機関との体制連携を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援等が必要です。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある			○ 少ない	● 大きい	在宅・施設を通じて地域における包括的・継続的なケアを実施するため、医療機関を含めた関係機関との体制連携を構築し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援等が必要です。	○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない			○ ない	● ある		○ ない	● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● いえる			○ いる	● いない		○ いる	● いない		
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる			○ いえない	● いえる	在宅と施設の連携など、地域において、多種相互の協働等により連携し、個々の高齢者の状況や変化に応じて包括的・継続的にケアが提供され有効です。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない			○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる			○ する	● しない		○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している			○ できない	● できる		○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している		
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ あまり上がっていない	● 概ね達成している			地域包括支援センターで実施する事業(介護予防支援、ケアマネジメント等)と関係機関の連携によりケア体制の構築が概ね図られています。	○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している				○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している				○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している				○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している				
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当			各関係機関の連携促進、指導助言、研修会等を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができ、事業効率が高いと思われます。	○ 高い	● 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない				○ 高い	● 適当				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない				○ できる	● できない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		● 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
それぞれの関係機関との連携は徐々に取れていますが、ネットワークの構築までは至っていません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の事業所等と高齢者との連携・インフォーマルサービスとの連携体制などの整備を図ります。					65歳以上の高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができるように、地域包括支援センターを中心に医療機関を含めた介護事業所等の関係者と連携体系を構築し、今後も包括的・継続的ケアマネジメント事業を継続、拡充していきます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	22	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	家族介護継続支援(介護用品支給)事業	公的関与	5	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫	シート作成者名	妹尾千恵子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)安心な生活の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		在宅で要介護認定者を介護している家族(要介護4又は5、市民税非課税世帯)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	紙おむつ等の介護用品を支給することにより、要介護者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ります。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 介護用品(紙おむつ、尿取りパッド)の支給(市民税非課税世帯)														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	介護用品支給対象者		年間の介護用品支給対象者数		人	目標	↑	↑	↑	↑					
						実績	25	28							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金		459 千円	540 千円	750 千円									
		県支出金		230 千円	270 千円	375 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		230 千円	270 千円	375 千円									
		一般財源		216 千円	271 千円	375 千円									
		計(A)		1,135 千円	1,351 千円	1,875 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.140 人	857 千円	0.140 人	880 千円	0.140 人	860 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)			1,992 千円	2,231 千円	2,735 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより負担軽減が図られるため必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	要介護認定者を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に介護用品を支給することにより身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続、向上ができて有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	申請者(該当者)について、おおむね支給対応できています。ただし、該当者のうち一部の未申請者についての周知が必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	在宅で要介護者を介護している家族の負担軽減を図ることにより、要介護者の在宅生活の継続、向上を図ることができます。効率的に実施されています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	申請者や問い合わせが年々増加していますが、今以上に該当者へ事業内容の周知(該当者のうち未申請者について)を行います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	介護支援専門員連絡会等で居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行い、該当者への連絡、申請を促します。					在宅での要介護者(要介護4~5)を介護している家族との在宅生活を継続可能にする施策として、低所得者世帯の支援事業として、今後も事業を継続していきます。未利用者の該当者についても周知を行い、利用促進を図ります。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	基本事務事業名	任意事業		事務事業名	その他の事業(住宅改修支援事業)		公的関与	5	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター		主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	妹尾千恵子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)安心な生活の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		居宅サービス計画の作成をする介護支援専門員がいない要介護者											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書の作成及び作成した場合の経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活が送れるように支援します。											
			今年度												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由がわかる書類を作成した場合の経費の助成														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	住宅改修の理由書作 成件数		年間の理由書作成経費助成件数		件		目標	→	→	→	→				
							実績	2	2						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5 地域支援事業費		項	2 包括的支援事業・任意事業費		目	5 任意事業費	
			平成 20 年度決算		平成 21 年度決算		平成 22 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金		1 千円		1 千円		4 千円							
		県支出金		1 千円		1 千円		2 千円							
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源		1 千円		1 千円		2 千円							
		一般財源		1 千円		1 千円		2 千円							
		計(A)		4 千円		4 千円		10 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.004 人 24 千円		0.004 人 25 千円		0.004 人 25 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円		0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		28 千円		29 千円		35 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護認定者が自立した日常生活を送れるよう支援するため必要です	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある			○ 少ない	● 大きい		住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、要介護者の負担軽減が図れます。	○ 少ない	● 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない			○ ない	● ある	○ ない		● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない			○ ある	● ない	○ ある		● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● 見える			○ いる	● いない	○ いる		● いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ する	● しない			○ いえない	● 見える	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、地域における自立した日常生活の継続が可能になります。	○ いえない	● 見える		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ できない	● できる			○ いえない	● 見える		○ いえない	● 見える		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ 高い	● 適当			○ する	● しない		○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できる	● できない			○ できない	● できる		○ できない	● できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 概ね達成している	● 十分達成している			○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している	住宅改修費の支給の申請に係る必要な理由書を作成した場合の経費を助成することにより、地域における自立した日常生活の継続が可能になります。	○ 目標に比べて劣っている	● 概ね達成している		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している			○ あまり上がっていない	● 概ね達成している		○ あまり上がっていない	● 概ね達成している		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している			○ 概ね達成している	● 十分達成している		○ 概ね達成している	● 十分達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	● 概ね達成している			○ 十分達成している	● 概ね達成している		○ 十分達成している	● 概ね達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当			○ 高い	● 適当	他の実施主体を活用するには今以上のコストがかかります。現在の方法で効率的に実施できています。	○ 高い	● 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない			○ できる	● できない		○ できる	● できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
		要介護認定者を支援する事業として、今後も必要な要介護者に対して継続するとともに、居宅介護支援事業所へ事業内容を周知していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	居宅介護支援事業所の介護支援専門員に事業内容の周知を行います。					地域支援事業の中の任意事業として、該当者は少数ですが地域における自立した日常生活を支援する施策として制度上必要である。							
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成21年度実施事業対象

PLAN	No.	19	—	24	基本事務事業名	任意事業	事務事業名	その他の事業(成年後見制度利用支援事業)	公的関与	5	シート作成日	平成22年6月11日			
	部局名	健康福祉部			課名	地域包括支援センター	主務課長名	坂東重夫		シート作成者名	妹尾千恵子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4)高齢者施策の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 18 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4)安心な生活の確保				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		成年後見制度の申立をする者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申立に要する経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活の支援を行います。										
				今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 成年後見制度の申立に要する経費の助成を行います。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	最終目標					
	制度の申立申請件数		年間の申請件数		件	目標	→	→	→	→					
						実績	1	0							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	介護保険特別会計				款	5	地域支援事業費	項	2	包括的支援事業・任意事業費	目	5	任意事業費
			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	3 千円		0 千円		87 千円								
		県支出金	1 千円		0 千円		43 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	1 千円		0 千円		43 千円								
		一般財源	3 千円		0 千円		45 千円								
		計(A)	8 千円		0 千円		218 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.002 人	12 千円	0.000 人	0 千円	0.002 人	12 千円							
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		20 千円		0 千円		230 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	成年後見制度の申立費用を助成することにより、高齢者等の日常生活の支援を行うため必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	成年後見制度の申立費用を助成することにより、該当者の負担軽減が有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	必要な該当者については、概ね対応できていますが、後見人への報酬の費用負担の問題で利用できない方もいます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	年度により該当者の有無がありますが、効率的に実施できています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	成年後見制度と同時に事業内容の周知を行います。支援の内容が低所得者への申立て費用のみのため、後見人への報酬の費用負担の問題で事業の利用をしない方がいるため、事業内容の拡充の検討が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	各事業所及びひとり暮らしの高齢者等の方で、必要な方を対象に各種相談の段階で成年後見制度とともに事業の利用説明を行います。後見人への報酬助成を検討します。					低所得者の高齢者に係る成年後見制度の申し立てに要する経費の助成を行うことにより、地域における自立した日常生活の支援を継続して行っています。								
委員会指摘事項														